

雪がた

豊科病院広報誌

令和 3年 5月 20日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

Tel:0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

オンラインで退院支援

地域への誘い

精神科病院に入院されている方の中には、入院が長くなり退院することが不安…「本当は退院したいけど言い出せない…」

退院はしたいけど何から始めたら良いのかわからない…「といった思いの方々がいらつしやると思います。

そこで当院では、平成23年6月より、松本圏域障がい者総合相談支援センターさんに病棟に入っていたいただき、同センターさんと協同で、そのような思いを持たれている患者さんの退院支援を企画、実施しております。今年で丁度10年が経ちました。

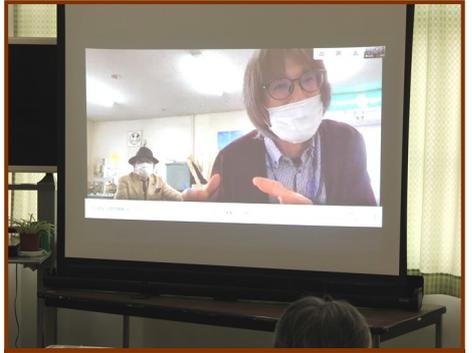
平成28年度からは、同センターの退院支援コーディネーターさんとピアサポーター（以下、ピアサポ）の方々に来院していただき、当院の作業療法部と協同のプログラムを年数回実施。入院患者さんを対象に、個別の面談を行ったり、退

院までの流れや、地域生活の説明をしていただき、退院についての学習や活動を行うて来しました。

ところが、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、退院支援コーディネーターさんもピアサポの方々にも来院していただくことができませんでした。そこ



で、松本圏域障がい者基幹相談支援センターの退院支援コーディネーターの紅林奈美夫さんと当院の精神保健福祉士が、プログラムの継続をする方法を模索し、オンラインで、このプログラムの継続を試みる案が浮上りました。



スクリーン越しに患者さんに話し掛けられる紅林コーディネーター

ピアサポーター（Peer Supporter）は仲間や同僚という意味。ある問題をかかえる当事者が同じ問題を抱える者を仲間の立場で支援し合うことを「ピアサポート」という。精神保健領域におけるピアサポーターは、精神障がい者が自らの体験に基づいて、仲間障がい者を支援する活動を指し、支援する障がい者を「ピアサポーター」と呼んでいる。

5月13日、当院の作業療法士の調整のもと、ピアサポの方お二人と紅林さんが、オンラインで病棟のスクリーンと繋がり、画面越しに入院患者さんに話し掛けられました。まず、ピアサポの方々からは、入院を経て地域生活へ至るまでの体験を語っていただきました。また、ピアサポの方と紅林さんから、以前のプログラムにて面識のある入院患者さんに個々に声掛けをしていただき、入院患者さんからピアサポの

方にも、欠しぶりです。あの件はどうなりましたか？」などと、相互に声を掛けられ、久々に温かい空間となりました。聴講された患者の皆さんは、地域に心強い支援者が存在することを理解され、地域生活のイメージを深められたようです。このプログラムによって、過去には実際に退院に結実した方もいらっしゃいます。当院は入院患者さんの高齢化が否めませんが、このプログラムを通じて地域に関心を持たれ、一人でも多くの方が退院に結び付けられるよう、支援していきたいと思えます。

お花見に生け花 オンライン花見も

今年は春の訪れが早く、ここ安曇野でも3月

下旬に桜が開花しました。当院でも感染防止策をとりつつ、4月上旬から中旬にかけて、お花見を計画いたしました。



当院近隣の豊科公園の桜



精神科に入院されている方々の内、希望された方は、少人数のグループに分かれ、豊科近代美術館他、病院近くにある桜の名所で桜や季節の草花を鑑賞されました。コロナ禍で外出制限が続く中、久しぶりの外出に、皆さん満足されたようです。

また、体調や天候不良によって外出できない方もいらっしゃいましたので、全病棟を対象に、桜の生け花を行いました。お花見の集合写真、生け花といった春の息吹に囲まれ、入院患者さんの会話も、心なしか弾まれていたようです。

一方、精神科デイケアでは、全国の各地の桜の名所の動画を用いてお花見を行いました。デイケアの活動として思うように外出できない期間が続き、メンバーの中から「習で楽しいことをして発散したい」「一人で出かけてもつまらないから、皆と一緒に外出したい」というご意見が出されてきました。

様々な角度から桜を愛でられるのは、オンライン花見こそ醍醐味でした。参加されたメンバーの皆さんからは、「高遠の桜がきれいだった」「はじめてお花見をしたけれど、たまにはいいなと思った」といった感想が聞かれました。



聖火ランナー 当院前を走る

4月2日、東京オリンピック開催に伴い、こ
ご安曇野市において聖火リレーが行われ、当院
南側の道路を聖火ランナーが走りました。

スタートの約30分前から、交通規制が始ま
り、多くの警察車両が配備され、空には県警のヘ
リコプターが飛び、いわゆる厳戒態勢といえる
状況でした。

スタートと共に、オリンピックのオフィシャル
スポンサーの装飾された車両が、次々と当院前
を通過しました。聖火ランナーだけが通過する
と思っていた私たちには、その車両に驚かされ
ました。側面に巨大なディスプレイのある車両、



聖火をモチーフにした
煙をあげる車両、階段が
施された車両などと
も、音響と沿道を盛り
上げるスピーチ。そし
て、その車両の周囲で踊
りながら飲み物やタオ
ルを配布するスタッ
ルの方々など、想像を上
回る演出で、さながら浦
安市の某有名テーマ
パークのパレードのよ
うでした。

その数々の車両の通過後、聖火ラン
ナーが、沿道に手を振りながら登場。
沿道の方々には、新型「コロナウイルス感
染拡大防止のため大声は出さず、拍
手を送ったり、手を降るなどして、ラン
ナーを盛り上げました。聖火ラン
ナーが、当院の前を走るのは、当院
102年の歴史の中で、初めてのことで
はないでしょうか。

新型「コロナウイルス」の影響により、



開催されるのか否
か、無数の意見が飛
び交い続ける状況
の東京オリンピック
ですが、沿道で聖火
ランナーを見ていた
当院のグループ
ホームの利用者の方は、「いよいよ日本でオリ
ンピックが開催されるのだと、改めて実感できた。
地元で目の

前で聖火リ
レーを拝む
機会はもっ
たいと思っ
たので、見るこ
とができる
本当によ
かった」と、
コメントさ
れていまし
た。



美化活動紹介



5月10日、当院の患者CSサービス委員会と環境管理委員会が、当院南側の花壇に種々のたくさんのお花を移植しました。歩道から色々な花をお楽しみください。



ください



当院では、デイケアや作業療法で、書道や絵画を行う際に、下敷きとして古新聞紙を頻繁に使用します。しかし、古新聞紙が足りていない現状にあります。

「自宅」不要な古新聞がございましたら、当院事務部までお持ちいただければ幸いです。

外来 医師担当表

令和3年 5月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
内科	いわさ たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	まちだ りょうすけ 町田 良亮 医師	休 診	休 診
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつり 五味淵 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつり 五味淵 満徳 医師

◎ 受付時間 午前 7:00～正午
◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※木曜日の精神科は、午前9:30～診療開始

※ 午後は全科**休診**となります。
※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～ 編集後記 ～

先月、豊科の市街地を、オリンピックの聖火ランナーが走りましたが皆さんはご覧になりましたか？この聖火リレーを目の当たりにすると、東京五輪の開催が迫っていることを実感します。

一方、新型コロナウイルスは、変異株も伴う第4波の感染拡大もみられており、ここ松本盆地でも感染される方が増えています。梅雨入りも早く、気候も不安定です。新型コロナ対策も含め、健康管理には十分気をつけましょう。



※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。